# 第18章　帳簿の締切

## 18－1　損益振替

【重要性：Ａ】

**ＰＯＩＮＴ！**

①　決算振替では何が行われるかを大まかにとらえよう！

②　損益振替の目的を理解しよう！

③　損益振替仕訳をマスターしよう！

**主な勘定科目**

「損益」勘定

**（１）決算振替**

決算整理を行うことによって、当期の経営成績を表す正しい収益と費用になり、また、当期の財政状態を表す正しい資産、負債及び純資産となり、損益計算書と貸借対照表を作成しました。

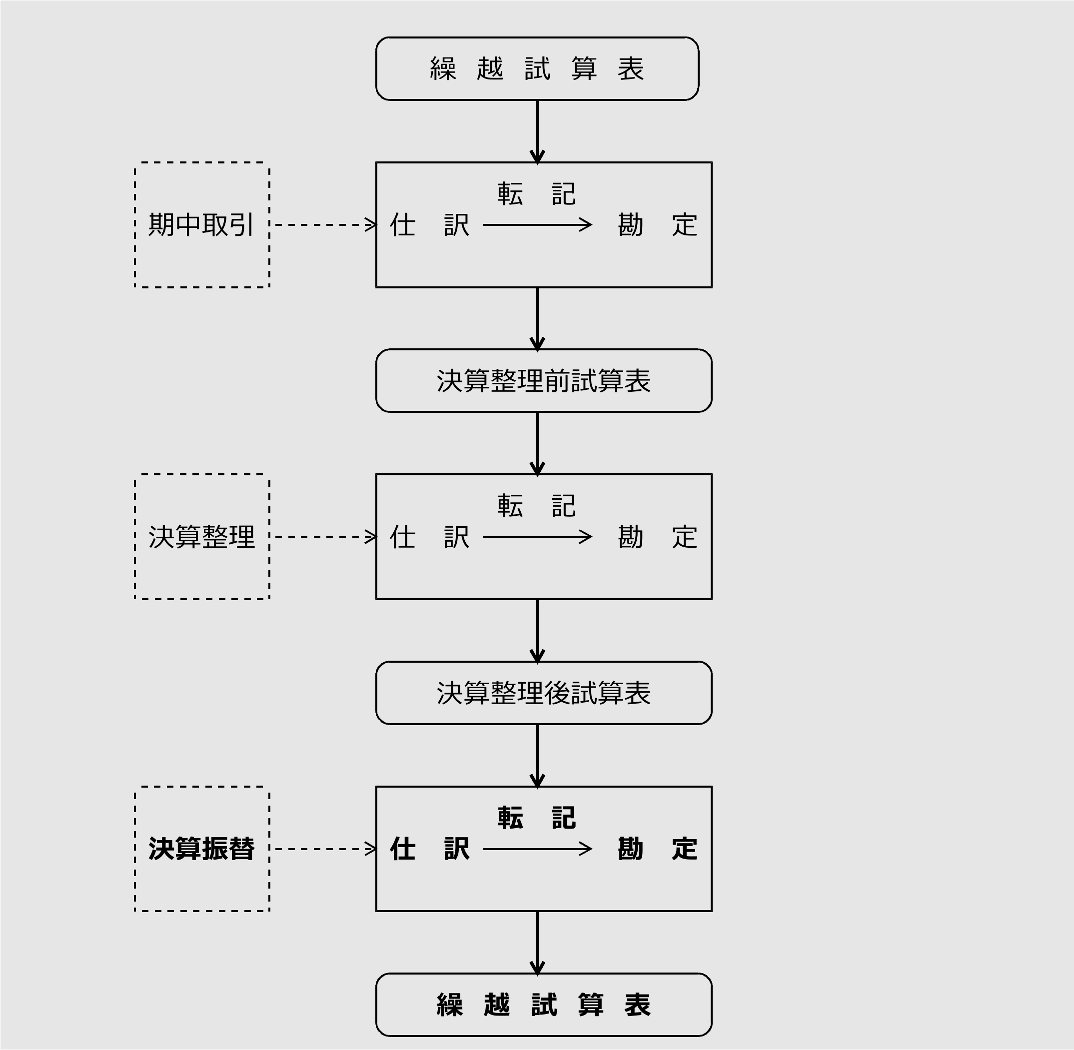
しかし、損益計算書と貸借対照表は財務諸表であり、帳簿ではありません。帳簿においても当期の勘定記入と次期の勘定記入を区別するため、**帳簿の締切（しめきり）**という手続きを行います。

帳簿の締切の手続きは、次の流れで行います。

① 損益振替（そんえきふりかえ）
② 資本振替（しほんふりかえ）
③ 資産、負債及び純資産の勘定残高の繰越
④ 繰越試算表（くりこししさんひょう）の作成

損益振替と資本振替をあわせて**決算振替（けつさんふりかえ）**といい、決算振替で行う仕訳を**決算振替仕訳（けつさんふりかえしわけ）**といいます。

　決算振替が簿記一巡の中でどこに該当するのかを理解していただくために、簿記一巡の図を再度、記載します。



**（2）損益振替**

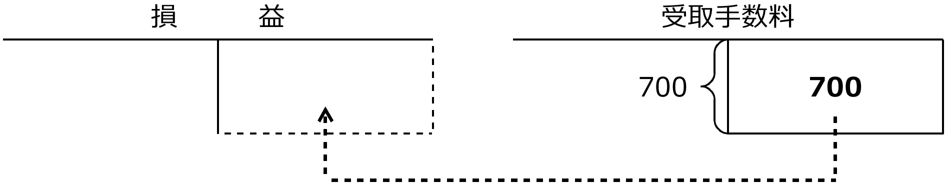
決算整理で正しい残高となった収益、費用をもとに損益計算書で当期純利益を算定しますが、帳簿においても当期純利益を算定するために、収益と費用の各勘定残高を「**損益**」勘定に振り替えます。これを**損益振替**といいます。なお、「損益」勘定は決算振替の際にのみ利用し、期中取引や決算整理においては利用されません。

損益振替を行うと収益と費用のすべての勘定残高が「損益」勘定に集まり、その差額で当期純利益を算定します。また、損益振替を行うことで収益、費用の各勘定の残高がゼロとなり、収益と費用の勘定は締め切られます。

実際の勘定記入とは異なりますが、損益振替のイメージは以下のようになります。

・収益勘定の振替

① 損益振替前

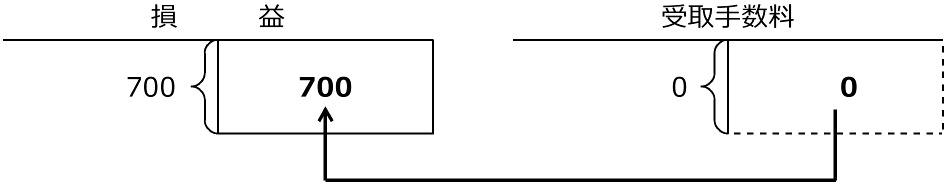



② 損益振替仕訳

「受取手数料」勘定（収益）の貸方残高700を「損益」勘定の貸方に振り替えます。損益振替を行うと、「損益」勘定の貸方に700が記入され、「受取手数料」勘定の残高はゼロとなります（③損益振替後を見て下さい）。そこで、借方に「受取手数料」勘定700、貸方に「損益」勘定700として仕訳を行います。

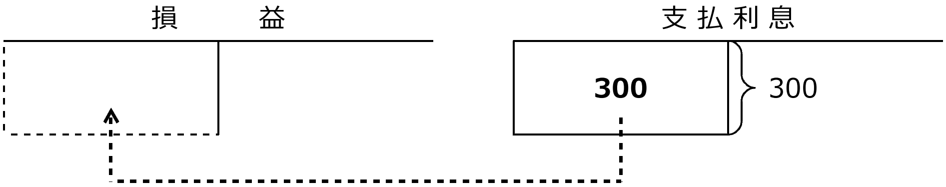
| 借 方 科 目 | 金　額 | 貸 方 科 目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **受 取 手 数 料** | **700** | **損　　益** | **700** |

③ 損益振替後



・費用勘定の振替

① 損益振替前

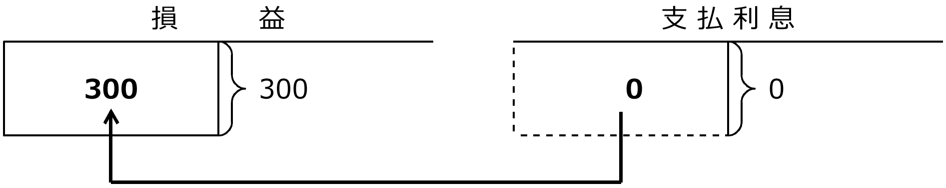



② 損益振替仕訳

「支払利息」勘定（費用）の借方残高300を「損益」勘定の借方に振り替えます。損益振替を行うと、「損益」勘定の借方に300が記入され、「支払利息」勘定の残高はゼロとなります（③損益振替後を見て下さい）。そこで、借方に「損益」勘定300、貸方に「支払利息」勘定300として仕訳を行います。

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| **損　益** | **300** | **支　払　利　息** | **300** |

③ 損益振替後




実際の勘定の記入は以下となります。「損益」勘定の差額で当期純利益400を算定します。また、損益振替を行うと収益と費用の各勘定は残高がゼロとなり、締め切られます。

受取手数料

| 日付 | | 摘要 | 借方 | 日付 | | 摘要 | 貸方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 31 | 損　益 | 700 | 4 | 4 | 現　金 | 700 |

支払利息

| 日付 | | 摘要 | 借方 | 日付 | | 摘要 | 貸方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 3 | 現　金 | 300 | 12 | 31 | 損　益 | 300 |

損　益

| 日付 | | 摘要 | 借方 | 日付 | | 摘要 | 貸方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 31 | 支払利息 | 300 | 12 | 31 | 受取手数料 | 700 |

# 18－2　資本振替

【重要性：A】

**ＰＯＩＮＴ！**

①　資本振替の目的を理解しよう！

②　資本振替仕訳をマスターしよう！

**主な勘定科目**

「損益」勘定

「資本金」勘定（純資産）

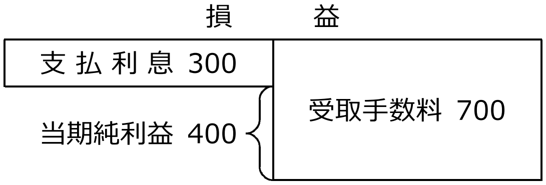
損益振替（そんえきふりかえ）によって、収益と費用の各勘定残高が「損益」勘定に振り替えられ、その差額で当期純利益を算定します。当期純利益は元手をもとにして獲得した利益であり、その分だけ純資産が増加します。

そこで、「損益」勘定で算定した当期純利益を「**資本金**」勘定（**純資産**）に振り替えます。これを**資本振替**（しほんふりかえ）といいます。

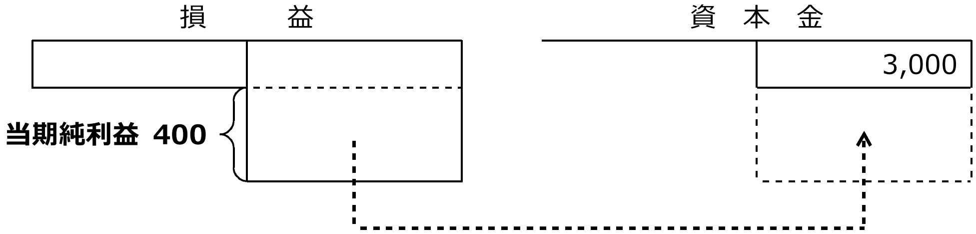
実際の勘定記入とは異なりますが、資本振替のイメージは以下のようになります。

・損益振替後の「損益」勘定

受取手数料（収益）700と支払利息（費用）300を損益勘定に振り替えています。




① 資本振替前

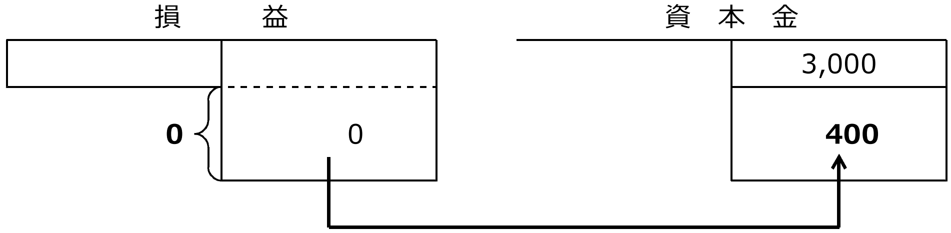



② 資本振替仕訳

「損益」勘定の貸方残高400（当期純利益）を「資本金」勘定の貸方に振り替えます。資本振替を行うと、「資本金」勘定の貸方に400が記入され、「損益」勘定の残高はゼロとなります（③資本振替後を見て下さい）。そこで、借方に「損益」勘定400、貸方に「資本金」勘定400として仕訳を行います。

| 借 方 科 目 | 金　額 | 貸 方 科 目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| **損　益** | **400** | **資　本　金** | **400** |

③ 資本振替後



実際の勘定の記入は以下となります。

損　　益

| 日付 | | 摘　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 31 | 支払利息 | 300 | 12 | 31 | 受取手数料 | 700 |
| | 〃 | 資本金 | 400 | | | | |
| | | | 700 | | | | 700 |

資本金

| 日付 | | 摘　要 | 借　方 | 日付 | | 摘　要 | 貸　方 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 1 | 現金 | 3,000 |
| | | | | 12 | 31 | 損益 | 400 |